

福島第一原子力発電所現地確認報告書

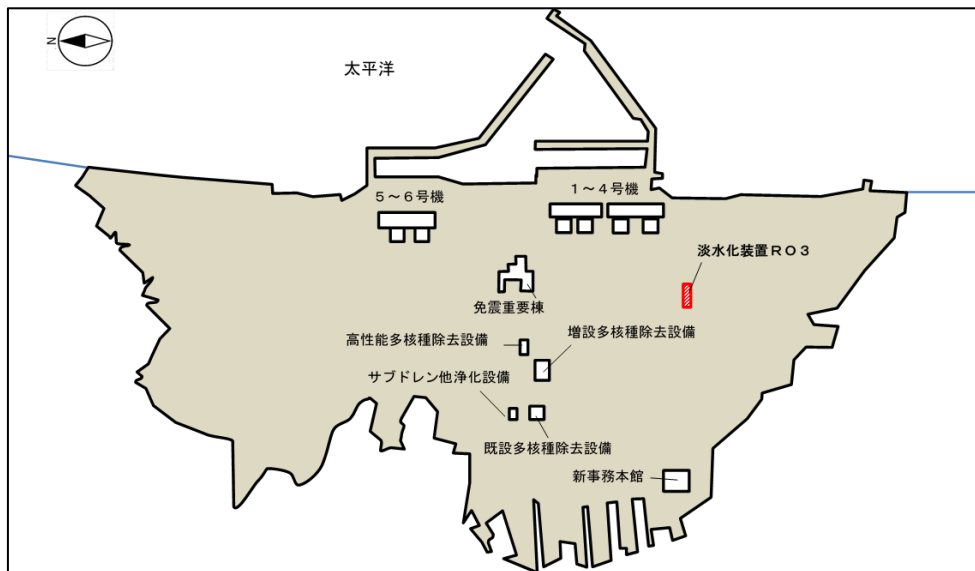
- 1 確認日
令和5年2月28日（火）
- 2 確認箇所
淡水化装置RO-3
- 3 確認項目
淡水化装置RO-3水漏れ事象の対応状況

4 確認結果の概要

淡水化装置RO-3（以下「RO-3」という。）において、2月21日に発生した逆浸透膜スキッド2の出口ラインの2箇所（逆浸透膜出口配管及びフランジ）からの水漏れ事象の対応状況を確認した。なお、漏えいした水は、堰内に留まり外部への流出はなかった。また、堰内に漏えいした水の回収は2月21日に完了している。

（図1）（写真1）（前回確認：令和4年9月6日（RO-3の状況））

- ・現場確認時には、RO-3の全ての逆浸透膜スキッド（4系列）が停止していた。
- ・1箇所目の漏えい箇所（逆浸透膜出口配管）は袋養生されており、受けとしてプラスチック製のバケツが置かれていた。配管に滲みが確認され、受けのプラスチック製バケツには水が溜まっていた。（写真2）
- ・2箇所目の漏えい箇所（配管フランジ部）は乾いており、滲み等は確認されなかった。（写真3）
- ・確認した範囲では、RO-3の堰内に水溜まりはなかった。（写真4）
- ・東京電力によると、原因は、RO-3逆浸透膜スキッド2の出口弁（写真5）を閉め切り状態のまま起動したことによるものであり、今後、要因の分析や再発防止対策を検討するとのことであった。
また、他のRO-3逆浸透膜スキッドや建屋内淡水化装置の使用により、淡水化処理には影響はないとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
RO-3建屋 (ジャバラハウス) の
外観 (北東側から撮影)



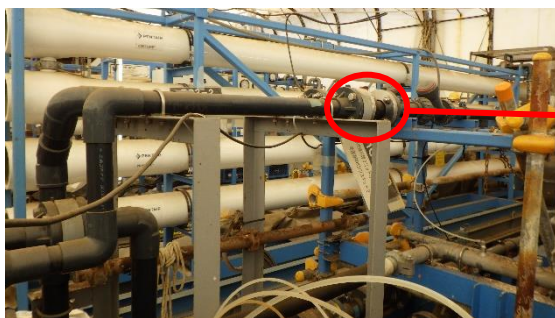
(写真1-2)
RO-3逆浸透膜スキッド2の概観



(写真 2 - 1)
漏えい箇所 (逆浸透膜出口配管) の
状況



(写真 2 - 2)
漏えい水受け (プラスチック製バケ
ツ) の状況



(写真 3 - 1)
漏えい箇所 (配管フランジ部) の状
況①



(写真 3 - 2)
漏えい箇所 (配管フランジ部) の状
況②



(写真 4)
RO-3 堰内の状況 (逆浸透膜スキ
ッド 2 周辺)



(写真5-1)
出口弁の状況①



(写真5-2)
出口弁の状況②

※写真手前の出口弁が逆浸透膜スキッド
1、2用で写真奥の出口弁が逆浸透膜
スキッド3、4用

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。